

# 安全データシート(SDS)

作成日 2021 年 10 月 1 日

## 1. 化学品及び会社情報

**製品名** : Perfect Shield  
**製品コード** : TS-0317  
**会社名** : 株式会社オートビジネス  
**住所** : 兵庫県神戸市灘区友田町1丁目 5-5  
**担当部門** : 技術開発部  
**電話番号** : 078-858-9901  
**FAX番号** : 078-858-9904  
**推奨用途** : 車両用塗装表面処理剤

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 物理化学的危険性

爆発物	分類対象外
可燃性ガス	分類対象外
酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分 3
可燃性ガス	分類対象外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性ガス	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類対象外

#### 健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分外

#### 環境に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
水生環境有害性(急性)	分類できない
水生環境有害性(慢性)	分類できない

※記述のない GHS 分類は「分類対象外」または「分類できない」である。

### ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

引火性液体及び蒸気 (H226、引火性液体 区分 3)  
 皮膚刺激 (皮膚腐食性/刺激性 区分 2)  
 呼吸器への刺激のおそれ  
 眠気又はめまいのおそれ

注意書き:

- 【一般】 子供の手の届かないところに置くこと。  
使用前に注意書きをよく読むこと。
- 【安全対策】 使用前に取扱説明書を入手すること。

飲食または喫煙をしながらこの製品を使用しないこと。  
 熱・火花・高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。  
 必要に応じて個人用保護具を着用すること。  
 取り扱い後はよく手洗い、うがいをすること。  
 容器を密封しておくこと。  
 野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

**【応急措置】**

眼に入った場合は水で数分注意深く洗ってください。次にコンタクトレンズを着用してい  
 て容易に外せる場合は外してください。

皮膚に付着した場合はは多量の水と石鹼で洗ってください。

直ちに大量の水と石鹼等で洗い、汚染された衣服は新しいものに取り替えること。痛み  
 が残る場合は医師の手当て、診断を受けること。

**【保管】**

気分が悪いときは医師の診断、手当を受けること。

**【廃棄】**

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

**3. 組成、成分情報**

単一製品・混合物の区別                      混合物(液体)

成分名	含有率・%	CAS-No.	化審法
ミネラルスピリット	10.0～15.0	—	(9)-1700
酸化アルミニウム	5.0～15.0	非公開	
アルミニウムシリケート	5.0～10.0	非公開	
ジメチルポリシロキサン	1.0～5.0	非公開	
界面活性剤	1.0～5.0	非公開	
安定剤	微量	非公開	
防腐剤	微量	非公開	
水	残部	7732-18-5	対象外

**4. 応急処置**

**吸入した場合:**                      新鮮な空気のある場所に移動させ、毛布等で保温し、安静にさせる。直ちに医師の手当  
 て、診断を受ける。

**皮膚に付着した場合:**              汚染された衣服等を脱がせ、直ちに石鹼で十分に洗い流し、刺激が残っていれば医師  
 の手当て、診断を受ける。

**目に入った場合:**                    直ちに清浄な流水で 15 分以上洗眼する。洗眼はまぶたを開き水が全体にいきわたる  
 ようにする。その後医師の手当て、診断を受ける。コンタクトレンズ着用の場合では  
 できるだけはずすこと。

**飲み込んだ場合:**                    直ちに口すすぎ、可能であれば吐かせる。大量の水を飲ませる等の処置をするとともに  
 医師の手当て、診断を受ける。但し患者の意識が無い場合は口から何も与えてはなら  
 ない。

**予想される急性症状および  
 遅発性症**                              咳、咽頭痛、吐き気、息切。

**医師に対する特別な注意事項**    安静と症状の医学的な経過観察が不可欠である。

**5. 火災時の措置**

**消火剤:**                                  二酸化炭素、水、泡、粉末消火剤、水噴霧

**使ってはならない消火剤:**        棒状注水

**特有の危険有害性:**                    火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消化する。  
 火災によって刺激性、腐食性または毒性のガスを発生するおそれがある。

**特有の消火方法:**                      危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
 移動不可能な場合、容器および周囲に散水して冷却する。  
 消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。  
 消火作業は風上から行う。  
 指定の消火剤を使用する。  
 出来る限り流出物が配水管または水路に入るのを防ぐ。

**消火を行う者の保護:**                消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置:	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避けること。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 密閉された場所に入る前に換気する。 風上から作業し、風下の人を避難させる。
環境に対する注意事項:	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。
回収、中和:	少量漏出の場合、ゴム手袋を着用しウエス等で拭き取る。残りは大量の水で洗い流す。 大量漏出の場合、拡散を防止する為、土砂でせき止めし乾燥砂等を使い回収する。残りは大量の水で洗い流す。
二次災害の防止策:	すべての発火源を速やかに取り除く。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

技術的対策:	必要に応じ、適切な保護具、保護眼鏡、保護手袋等を着用する。
局所排気・全体換気:	「8. 暴露防止および保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
火災・爆発の防止:	周辺での高温物、スパーク、火気の使用をさけること。
接触回避:	保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためますを設けること。 保管場所には危険物を貯蔵し、または取り扱うために必要な採光、照明および換気の設備を設ける。
保管:	子供の手の届かないところに施錠して保管すること。
保管条件:	直射日光の当たる所、温度が 40°C以上0°C以下の所、水のかかる所、湿気の多い所は避けて保管すること。 密閉し通風のよい暗所に保管すること。 容器は直射日光や火気を避けること。 容器を密閉して保管すること。
容器包装材料:	消防法および国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:	設定されていない。
許容濃度	設定されていない。
日本産業衛生学会:	設定されていない
ACGIH:	設定されていない。
保護具	
呼吸器の保護具:	有機溶剤用防毒マスク
手の保護具:	不浸透性保護手袋
眼の保護具:	側板付保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具:	長袖の保護衣等を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:	乳白色液体 (o/w 型エマルジョン)
臭い:	特有溶剤臭を有する。
PH:	7.0~8.0 (25°C)
融点・凝固点:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	55°C(密封)
爆発範囲:	データなし
比重(密度):	1.01 ± 0.02(25/4°C)
溶解度(水):	溶解ではなく自由に分散混和する。
オクタノール/水分配係数:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
粘度:	約 550mPa/s(20°C)

## 10. 安定性及び反応性

安定性:	通常取扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。
危険有害反応可能性:	強力な酸性物質と反応する。高温で爆発や燃焼する。

避けるべき条件: 高温・火花・裸火。  
 混触危険物質: 酸化物質  
 危険有害な分解生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素、亜硫酸ガスを発生する。

## 11. 有害性情報

急性毒性: 急性経口毒性(LD50): 4800 mg/kg(Rat, 計算値)(GHS 分類: 区分5)  
 皮膚腐食性・刺激性: 刺激性あり(GHS 分類: 区分2)  
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性: データなし  
 皮膚感作性: 区分外  
 呼吸器感作性: データなし  
 生殖細胞変異原性: データなし  
 発がん性: データなし  
 生殖毒性: データなし  
 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露): データなし  
 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露): データなし  
 吸引性呼吸器有害性: データなし

## 12. 環境影響情報

生体毒性: データなし  
 残留性・分解性: データなし  
 生体蓄積性: データなし  
 土壌中の移動性: データなし  
 オゾン層への有害性: 分類できない、データなし

## 13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物: 「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従って処理を行うか、または許可を受けた廃棄物処理業者に委託して処分する。環境中に放出する場合は、廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化および中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にし、法的基準を満たしていることを確認してから行う。  
 汚染容器および包装: 空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去した後に廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

国際規制:  
 国連番号: 1993  
 クラス: 3  
 容器等級: III  
 指針番号: 128  
 国内規制:  
 陸上輸送: 消防法、労安法等に定められている運送方法に従う。  
 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。  
 航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法: 特化則 名称等を表示すべき有害物(第57条の1)酸化アルミニウム、ミネラルスピリット  
 有機則 名称等を通知すべき有害物(第57条の2)酸化アルミニウム、ミネラルスピリット  
 消防法 非危険物 指定可燃物 可燃性液体類  
 PRTR 法: 該当なし  
 毒物及び劇物取締り法: 該当なし

## 16. その他の情報

**参考文献**

(独)製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報提供システム」

- 記載内容は、作成時点で入手できた資料、データ等に基づいておりますが、含有量、物理化学的性質などの値は保証値ではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合には、使用者の責任において、用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- この情報は新しい知見に基づき改定されることがあります。